

と き 瞬間 No.111

寿波苑広報誌 ～ TOKI ～



社会福祉法人 松友福祉会
障害者支援施設 寿波苑

〒723-0035

広島県三原市須波ハイツ四丁目15番1号

TEL (0848) 69-0568

E-mail: soudan@sunamien.jp

2022年1月発行

皆様に幸多き年でありますよう、
心からお祈り申しあげます。

二〇二二年 元旦



運賀新年

社会福祉法人 松友福祉会

理事長	松尾恵輔
理事	松尾怜子
理事	横山元成
理事	峯岡俊徳
理事	西原隆夫
理事	里村学
監事	坂井元也
監事	檜山仁志
評議員	金久昌成
評議員	竹上照久
評議員	井藤善人
評議員	陶 八千枝
評議員	藤井啓文
評議員	久保田 たつ江
評議員	山本誠司

障害者支援施設寿波苑職員一同



新年のご挨拶

施設長 村 瀬 映 次



令和四年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。日頃より、「障害者支援施設寿波苑」の運営に対し、ご支援を賜り心より御礼申し上げます。当施設も皆様方のお力添えをもちまして、無事に新春を迎えることができました。

新型コロナウイルス感染症予防対策を講じた上、規模を縮小して新年互例会が行われました。寿波苑の基本理念を全員で唱和し、松尾理事長より訓辞をいただきました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

Ⅱ基本理念Ⅱ

全ての利用者の人権を尊重し、細心の注意と最大の努力を傾注し、安全にして確実、そして明るい生活の場を作り出すものとする。



昨年一昨年に続き、コロナ禍により全国で日常生活活動の自粛が続く中、寿波苑でも感染対策（「持ち込まない」、「持ち出さない」、「拡げない」）のための対策による面会制限（ガラス越し面会）等、またサービス利用の自粛要請により利用者・入居者の皆様、家族の皆様をはじめ関係者の皆様にはご心配、ご不便、ご迷惑をおかけいたしました。これまでの施設の感染症対策にご理解ご協力を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。これからも利用者・入居者様や職員の健康と安全を守るため社会での感染状況により対応をさせていただきますので何卒ご理解、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

今年も十干が「壬（みづのえ）」、十二支が「寅」の年にあたるので、干支は「壬寅（みづのえとら）」です。「壬」は「妊に通じ、陽気を下に妊（はら）む」、「寅」は、「壬（みづ）」に通じ、春の草木が生ずる」という意味があるとの事です。そのため「壬寅」は厳しい冬を越えて、芽吹き始め、新しい成長の礎となる年とも言われます。一日でも早くコロナ感染症が終息し、新しい生活様式で明るい話題を共有できるよう、取り組んでいければと思います。これから、大きな社会変化も予想されます。しかしながら、いかなる変化があろうとも、利用者様、地域の皆様及び関係諸機関のご期待に沿うべく、皆様から「選ばれる法人・施設」を目指して質の高いサービスを提供できるよう努力して参りますので、更なるご支援をお願い申し上げます。

今後とも、法人の理念である「誠実な福祉」「確実な知識と技術」「公平中立な福祉サービスの提供」を基本として、今一度『すべては利用者・入居者の皆様のために』を大前提とし、安全で安心できる、そして信頼される施設作りを職員一同一丸となり努力して参りたいと思います。

皆様方におかれましては、何卒倍旧のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



新春を迎えて



自治会会長 友 安 順 子

新年、明けましておめでとうございませう。

旧年は、寿波苑職員をはじめ、家族会等関係者のおかげをもちまして無事に年を越すことができ、感謝に耐えませう。本年もよろしくお願ひいたします。

今年も昨年続き、世界中で新型コロナウイルスの感染拡大が止まりそうにありませんが、早く終息されることを願ってやみません。そういった中、昨年はオリンピック・パラリンピックが開催され、新種目も加わり、メダルも過去最多を大幅に更新し、テレビの前で釘付けでした。選手達の逆境に立ち向かう競技姿にも感動したのですが、その中でも特にパラ開会式で「誰もが「翼」をもっている」と教えてくれて、パラ開会式では「違いが輝く」世界のすばらしさが伝わって来て、自然に涙がこぼれてきました。

自治会では、昨年ほとんどコロナ感染症予防のため、活動が出来ませんでした。今年、コロナ感染症が終息し、以前のように苑行事も復活し、自由に外出・ショッピング等に行ければと思います。そして、世界中の人々がマスクをはずして深呼吸できる日が一日でも早く訪れますように願うばかりです。

会員の皆様の生活がこれまで以上に楽しく快適に過ごせるように役員一同努力してまいりますので、皆様のご意見、ご要望等ございましたらよろしくお願ひいたします。

今年も皆さまと家族の皆さま及び職員の皆さまがご健勝でござ幸でありますよう、心からお祈り申し上げます。

新年を迎えて



家族会会長 松 本 耕 一

新年明けましておめでとうございませう。皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

二〇二〇年二月、政府が「不要不急の外出は控えるように」と、呼びかけてから、この二年間、コロナ禍の中において盛んに言われ続けた「不要不急」の四文字、何が不要で、何が不急なのか戸惑われた方も多かったのではないのでしょうか。意味のはつきりしないこの四文字を目にするたびに行動や日々の活動を思い悩み、自分の存在そのものについて考えさせられたりもします。「昨日と同じ日が今日も来た」という、以前は当たり前だと思っていたことがなんと有りがたい事かと感じます。

コロナ感染者の数は少し落ち着いてきた（この原稿を書いている十二月初旬）ようですが、海外ではまた感染者数の増加がみられ、まだ予断を許さない状況が続いています。

職員の皆様には、引き続きご苦勞をおかけしますが、よろしくお願ひします。

私たち家族会は、職員の皆さん、地域の皆さんのお力をお借りしながら、会員一同まとまって、最大限の努力をしてまいりたいと存じます。今年もコロナ感染症の状況次第で家族会が協力できる行事等限られてくるとは思いますが、できる限り積極的に参加するように声掛けをしていきます。今一度、皆様方に更なるお力添えをお願いいたします。新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

救急救命講習

11月10日(水)

介護職員、その他の職員を対象に、三原市消防本部の方に来ていただき「救急救命講習」を受け、心肺蘇生法やAEDの使い方を学びました。生活支援だけでなく、緊急時に備えて学ぶことができました。

今後も「命」と向き合い、職員一同、意識を持ち取り組んでいきます。

10月27日(水)に衆議院議員選挙、11月10日(水)に広島県知事選挙の不在者投票を行いました。投票をしたいという利用者様が参加され、一票を投じられました。



不在者投票を
行いました

☆☆☆ 日中支援活動 ☆☆☆

魚釣り

食堂に集まり、みんなで一斉に竿をなげ、魚をたくさん釣りました!!
「おいしそう♪食べたいねえ」とニコニコ笑顔あふれる魚釣りでした!!



周辺散策



紅葉を楽しむ季節には少し早かったですが、とても良い天気の中気持ちのよい風を受け、みんなで楽しく会話しながら周辺散策を行いました。

何より利用者さんの笑顔を見ることができて、とてもよかったです! 太陽の光を浴びるのって、やっぱりいいですね!!

梅ジュース作り



寿波苑だより「瞬間」、前号の日中支援活動の記事で紹介した梅ジュース作り…。利用者様がヘタを取って水気を拭き取り、ビン詰めした梅ジュースがついに完成!

厨房職員の手によって、なんと生クリーム付きのおいしそうな梅ゼリーになりました!

ゼリーは昼食時に利用者様にふるまわれ、「これがあの時漬けた梅か〜」「美味しゅうなってよかったわ」という声が聞かれました♪



棒体操

日中支援で棒体操を行いました。長い棒を持ち、音楽に合わせて体操をしました。

自力で体を動かす方も、職員と一緒に動かす方も体操を楽しみました。

普段動かない部位を動かしたりした為、「筋が伸びてる〜、気持ちいい〜」という声も聞こえてきました。体も心もほぐされ、とても良い時間を過ごせました。



料理

日中支援活動の一環として、料理（お好み焼き）が行われました。

午前と午後の2グループに分かれ、食堂でホットプレートを用いて焼きました。

簡単そうに見えて難しく、職員に手伝ってもらいながら上手に裏返していました。

焼きあがったお好み焼きにソース・マヨネーズ・青のり・鰹節をかけ、熱々のお好み焼きを頂きました。

1枚では足りないようで、「2枚目が食べたい」という利用者さんもいました。

次回の料理は、来年の2月を予定しているとか…。今から待ち遠しいですね。



物故者供養

8月16日(月)

お盆の恒例行事である物故者供養が、祭壇の設けられた食堂で行われました。須波にある曹洞宗・少林寺の住職をお招きし、10時30分から利用者・職員一同が参列しました。読経がしめやかに流れる中で、利用者・職員の順に焼香を行い、開設以来亡くなられた利用者の方々のご冥福をお祈りしました。

須波観音法要

10月18日(月)

すなみ荘にて須波観音法要が行われました。新型コロナウイルス感染予防の為、少人数での参加となりましたが、秋晴れの清やかな境内に、読経が厳かに響きました。



防災訓練

10月27日(水)



非常放送、避難誘導までを声を掛け合いながら行いました。

いつもとは違い、避難場所が2カ所に分かれていた為、少し戸惑いましたが、PHSを使用し上手く連絡をとることができました。

職員全員がいざという時に備え、安全で確実な避難が出来るよう訓練を重ねていきたいですね。



今回は日中の火災を想定した防災訓練を行いました。利用者モデル(利用者4名、職員によるモデル2名)、近隣住民モデル、職員に分かれて、初期消火、通報、

各種表彰受賞者の皆様

～表彰された皆様おめでとうございます～

○広島県知事表彰

(身体障害者等更生援護功労者等)

看護係長 西村 智恵

○広島県社会福祉協議会会長表彰

副主任生活支援員 中 田 紀 江

生活支援員 山 科 美 貴

○全国身体障害者施設協議会会長表彰

(30年以上)

生活支援係長 鶴 飼 典 子

主任生活支援員 城 平 直 子

(15年以上)

主任栄養士 下 尾 美 希

○中・四国身体障害者施設協議会会長表彰

(20年)

生活支援員 川 西 佐由美

調理員 坂 井 美津子

(10年)

看護師 亀 本 由 美

生活支援員 渡 辺 藍

これまでの功績を称えと共に、今後も更なる活躍をお祈りいたします。改めまして、おめでとうございます。

職員研修

11月の研修では、配布資料に基づき、インフルエンザ、コロナ対策についてマニュアルの見直しを再度行いました。

全職員、感染対策の意識を高め、今後も利用者様と関わっていけるように今回の研修を生かしていきたいと思います。

〈入所〉

利用者の動き

丁 田 哲 二 様
(令和3年9月13日)

馬 場 敬 子 様
(令和3年10月1日)

川 上 隆 様
(令和3年12月14日)



お悔やみ

施設利用者、原西健次様が令和3年7月21日、國貞猛彦様が令和3年7月27日、真田昌憲様が令和3年10月20日、松本トミ子様が令和3年12月13日に永眠されました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

☆ お楽しみ行事予定 ☆

1月

正月行事（お屠蘇）

正月行事（カラオケ）

正月行事（抹茶会）

鏡開き

グルメ会（すき焼き）



2月

節分行事

グルメ会（もつ鍋風ラーメン入り）



3月

将棋大会



4月

お花見会・家族会総会

蛭子神社例大祭（分社）

蛭子神社例大祭（本社）

毎月行事

〈第2木曜日〉 誕生会、苑長との会食

〈月1回活動〉 クラブ活動

（華道・陶芸・喫茶・書道）

〈随時活動〉 日中支援活動

〈日程未定〉 オセロ大会

※ 新型コロナウイルス感染症の影響で、中止又は延期になる行事があります。

♡ おめでとう♡

渡辺生活支援員に、かわいい女の子の赤ちゃんが生まれました。

＜誕生日＞

令和3年9月25日

名前 渡辺 ^{うた}歌 ちゃん

☆ フキ紹介コーナー ☆ No.40



今回紹介するのは「書道クラブ」です。

毎月季節に合ったお題をお手本にしていますが、特に決まりはないので、気になった単語や好きな言葉を思いのままに書かれる利用者様もいらっしゃいます。

書道は心を豊かにするといわれています。寿波苑での書道クラブは皆でわいわいと楽しみながら行うので、更に心豊かになれる活動となっているのではないのでしょうか？

編集後記

新年あけましておめでとうございます。旧年中は皆様のご協力、本当にありがとうございます。本年も相変わらずのご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症も落ち着きを見せ、皆さんの生活も現状に戻りつつあるのではないのでしょうか。

窮屈に感じていた生活でしたが、個々の工夫と慣れのせいも、新たな生活スタイルを見つけた方も多いのではないのでしょうか。

今後は第6波と言われる感染の波が来ないことを願い、健康で楽しい一年を過ごしていきたいと思います。

（ベテラン編集委員）

最近「昆虫食」というものの話題を耳にするようになってきました。メディアが取り上げるようになったからなのか、人気がでてきたためなのか？？？ 芸能人が食べて「意外とおいしい！」と言っているのを見ますが、見た目や先入観もあり、なかなか試してみづらい食品（？）だと思います。一方で、農作物の不作や食料品値上りの話題を耳にし、食糧難の時代をイナゴなどの昆虫食でしのいできたという話を思い出すと、食べられるようになったほうがいいのだらうか、一般の食卓に昆虫食が普通に並ぶ日がくるのだらうかと考えるようになります。ですが自分はまだチャレンジしてみても勇気も機会もなく、そんな未来になりませんようにとただただ願っているばかりです。

（新人編集委員）